

TOWN TOPICS

まちの話題

●身近で楽しい話題、
明るい話題待っています。

広報こまつま 電話 32-3812



1/10 二十歳の門出を祝う成人式 新成人324人が出席

次代を担う新成人の輝かしい未来を願って1月10日、市総合福祉センターで「平成22年小松島市成人式」が行われ、明日へ向かって希望に満ち溢れる新成人の門出を祝いました。

小松島市で今年、成人を迎えられたのは439名（男性217名、女性222名）。そのうち、324名（男性165名、女性159名）が式典に出席。

式典開始前の会場では、久しぶりに再会した友人と思い出話

をしたり、晴れ姿を写真におさめたりといった光景がいたるところで見受けられました。

式典では、新成人代表の村上七海さん（中郷町）に成人証書が手渡された後、稲田市長が「皆さんは二十歳という人生の節目を迎えられましたが、社会がどのように変化しようと、時流に流されず、人に流されず、ゆるぎない信念と決意で歩んで行っていたらいい。皆さんには一人ひとりに無限の可能性がります。このことを心にしっかりと刻み込み、大いなる夢に向かっていろいろなことに挑戦し、大きく羽ばたいていただきたい。



新成人を代表して成人証書を受け取る村上七海さん

この後、出口市議会議長、喜田県議会議員の祝辞に続いて、植田祐矢さん（中田町）が「今日この日の感激を胸に、皆様方のご教訓を忘れることなく、成人として恥じない言動に努め、小松島市の発展を願って一市民として頑張っていく覚悟でございます」と謝辞を述べられました。最後に、成人式の恒例記念行事「新成人の主張」が行われ、小高峯健一さん（和田島町）と篠本美菜さん（前原町）が抱負を述べられました。



新成人を代表して謝辞を述べる植田祐矢さん

立派な社会人としての自覚、責任感を再認識し、小松島に誇りと愛着を持っていただき、皆さんの力で新しい風を吹き込んでくださることを期待しています」と激励されました。

1/17 災害発生時の通信網確保のため 非常通信訓練を実施

大規模災害発生等の非常時に、迅速な情報伝達と通信網の確保を図ることを目的に1月17日、アマチュア無線協会小松島支部（森本孝会長）と市消防本部などが合同で非常通信訓練を行いました。訓練には、消防署員や消防団員、アマチュア無線協会の会員ら約40人が参加。

同日午前8時30分に地震が発生、一般電話や携帯電話などによる通信が不能になったとの想定で、消防本部内の無線局から市内各所の無線局へ災害情報の提供を呼びかけました。

各無線局から「勝浦川堤防上道路に亀裂があり、車両通行は



被災状況の把握、分析を行う消防署員と消防団員ら

危険である」「民家密集地域で火災が発生、消防隊の出勤を要請します」などの情報が寄せられ、地図とホワイトボードを使い、災害状況の把握や分析を行い、消防隊や消防団への出勤命令、市防災安全課への救援物資の搬送依頼など、災害時にスムーズに対応できるよう確認しました。

この日は、阪神大震災の発生から15年ということもあり、市職員による防災訓練も行われ、炊き出し訓練や応急担架の作成、小松島中学校までの市役所移転経路の確認などが行われました。



小松島中学校までの市役所移転経路の確認を行う稲田市長ら